



## 年 頭 所 感

規格建築部会部会長

森田 俊作

大和リース株式会社 社長

平成二十六年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素より規格建築部会の活動に多大の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、当協会は昨年十月一日から、一般社団法人プレハブ建築協会として新たなスタートを切ることになりました。当部会も今後より一層、プレハブ建築の災害時又は緊急時における応用技術の研究及び開発並びに供給体制の整備を通じて、災害時の応急仮設住宅を迅速に建設する体制を確立し、被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を提供できるよう取り組んでまいりたいと思います。

当部会の活動は昭和五十八年の東京都三宅島噴火災害の340戸の建設実績から依頼を開始して以来、平成二十五年までにおいて、延べ45都道府県より応急仮設住宅の建設要請を受け、71,826戸を建設してきました。特に平成二十三年に発生した東日本大震災では岩手県、宮城県並びに福島県で28,409戸の応急仮設住宅を建設し、現在はその教訓を踏まえた標準仕様の見直し、また管理マニュアルの改訂に取り組んでいるところです。

さて昨年は全国で大雪、突風、豪雨、台風等多くの災害が発生し、災害救助法が適用された自治体は延べ15県におよびました。その中で七月二十八日に山口県萩市東部を未だ経験したことがない記録的な豪雨が襲い各地に甚大な被害をもたらしました。又十月七日には台風24号が鹿児島県与論島付近を通過し猛烈な風が観測され島内住宅の三分の一が被害を受け、十月十六日には台風26号が関東甲信を防風域に巻き込み東京都大島町では、土砂災害等甚大な被害をもたらしました。被害者の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

災害発生後、山口県、鹿児島県、東京都より被災者支援として応急仮設住宅の建設要請を受け、早期に建設の活動を開始いたしました。会員のご協力を頂き、迅速な対応が出来たことにより山口県萩市に40戸、鹿児島県与論町に25戸を建設し、工期通り無事完成し引き渡しを致しました。また、東京都大島町の46戸については1月末完成に向けて建設しているところであります。ここに改めまして、建設に従事されました会員各位のご苦勞に感謝致します。今後共、仮設住宅設置期間中の維持管理等については建設に際した以上のご協力をお願い申し上げます。

近年の災害は地震災害に加えて温暖化の影響と思われる台風及び集中豪雨によるものが顕著になっております。被災が想定される都道府県では諸々の防災に関する訓練などを通じて、発災時に迅速な対応を図れるよう努めておられるところです。

当部会では毎年各都府県が主催する防災訓練に参加し、応急仮設住宅の「モデルハウス」

及び関連写真のパネル等を展示し、被災者支援活動への広報を行っております。また、災害発生後の応急仮設住宅の迅速な建設を目的とした自治体の図上訓練に参加し、初動体制を迅速に確立できるよう協力しております。加えて日頃より内閣府、国土交通省及び経済産業省並びに都道府県との間で、応急仮設住宅の建設に関する御意見を伺う等、災害対策業務を円滑に推進するにあたっての活動も実施しております。これら諸活動をするにあたり、応急仮設住宅建設関連資料集、建設記録集の更なる御理解をいただくべく努めております。

本年も会員の皆様の御協力・御支援を賜り応急仮設住宅建設という分野で社会に貢献する使命を果たしてゆく所存です。

最後に皆様方の一層のご発展とご健勝を祈念致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。